

平成29年度大阪府立池田北高等学校 第2回学校協議会記録（概要）

1 日 時： 平成29年10月31日（火） 午前10時～午前11時40分頃

2 場 所： 大阪府立池田北高等学校 校長室

3 協議会委員：

① 協議会委員（委嘱委員）

〈敬称略〉

会 長	木村 寛仁	大阪音楽大学 音楽学部 教授	学識経験者
会長代行	西留 清信	池田市立ほそごう学園 学園長	学識経験者
	西村 章	池田市立児童館 館長	地域の住民
	野村 剛志	大阪府立池田北高等学校同窓会会長	その他関係者
	堀田 守	阪急田園バス株式会社 伏尾台支社長	その他関係者
	和田 直美	大阪府立池田北高等学校 PTA 会長	保護者代表

② 事務局員（校内出席者）

校 長	若林 智子	事 務 長	東筋 和裕
教頭(事務局長)	吉岡 靖人	首 席	山本 進

※記録：首席

4 内 容：

配付資料の確認 / 学校協議会開会

(1) 学校長あいさつ

(2) 協議・連絡

- ① 平成29年度学校経営計画 進捗状況について
・9/15 放映 毎日放送「ちちんぷいぷい」視聴 等
- ② 保護者からの意見調査の現状報告について
- ③ その他

(3) 授業見学（10:50～11:20）

音楽専門コース授業 3限「ソルフェージュ」

(4) 意見交換

(5) 連絡

・今後の日程について

5 協 議：

① 平成29年度学校経営計画 進捗状況について

▽9/15 放映 毎日放送「ちちんぷいぷい」本校文化祭を取材した部分（約10分）を視聴
▽校長より、第1回学校協議会（6月）以降の池北ファイナルの取組みについて資料（本校ホームページ掲載記事）をもとに説明

猪名川花火大会を池北から見よう（8月）第33回池北祭 FINAL（9月）

新しい進路指導（9月）-NSC とのコラボ企画／漫才を知る・見る・やってみる

生徒への手紙（10月）－高校生活&池北の歴史が残り半年となった今、伝えたい事
ハロウィン行事（10/31 協議会当日）－ハロウィンを学び、体感する
地域環境を知って交流する企画「焼き芋」（11月）－ほそごう学園&地域とのコラボ
池田市の協力－文化祭／閉校イアーを収録するDVD作成／様々な報道提供 等

（委員より）

- ・生徒たちの活躍する場をたくさん作れているのが良い。また、マスコミにうまくつながり、生徒の張り合いにすることができているのではないかな。
- ・毎年、地域の高中小が連携して行っているフレンドリーコンサートも、続けていく中で地域の素晴らしい行事になっている。その交流の気持ちを継続されていることは素晴らしいと思う。
- ・閉校は、やはり寂しい気持ちになるが、文化祭、体育祭だけでなく、その他の行事でも生徒が達成感を感じている様子がよくわかる。
- ・同窓会としても閉校イアーを収録するDVD作成の募金活動&寄付ができた。
- ・バス便の縮小を聞き、伏尾台の地域活性化を考えた時に、池田北高の存在感を感じている。
- ・子どもたちの中には、行事は勿論だが、学習面でも試験前に図書館でみんなで勉強をしたり、わからないところを教えあったりすることを通して励まし合っている。

▽校長より、学校経営計画の進捗状況について校長分析資料を基に説明

- ・第1回授業アンケート結果の学校平均値がすべて低下している状況にあるが、閉校という「入れ替わらない集団」の影響が大きいと考えている。
- ・現時点での進路状況は概ね良好と言えるが、閉校のため、これまで以上に積み残しのない進路指導を実践しなければいけない現状に教員は焦りを感じる
- ・㊦メント手帳やファイナル行事の実践はできている

（委員より）

- ・地域のためにちょっとお手伝いすることも立派なボランティア活動だと教えていくことも、自己肯定感の向上につながると考えている。
- ・行事などでの達成感や、仲間意識の高まりが、自己肯定感を育てていくと感じる。
- ・バスでは見かける生徒たちも学校生活の充実があったから、3年生まで続いているとも感じる。
- ・自分自身を振り返っても、高校時代は自己肯定感が少しぐらい低くてもやむを得ないところもある。
- ・池北に来てよかったと言っている生徒は多いと感じる。一方で、家に帰りたくないという気持ちになる生徒が多い、とも感じている。

② 保護者からの意見調査の現状報告について

- ・現在のところ、学校協議会に寄せられた意見はなし

6 授業見学等：

「ソルフェージュ」の授業見学後に、2階のハロウィンロードを視察

7 今後の日程：

○次回学校協議会日程 平成30年2月27日（火）午前10時開会